



あさぎ町

議会だより

～“まち”の動きがよく分かる！～

No.65
R2年.11.4発行

あさぎ町議会

検索

通年議会 第5・6回会議

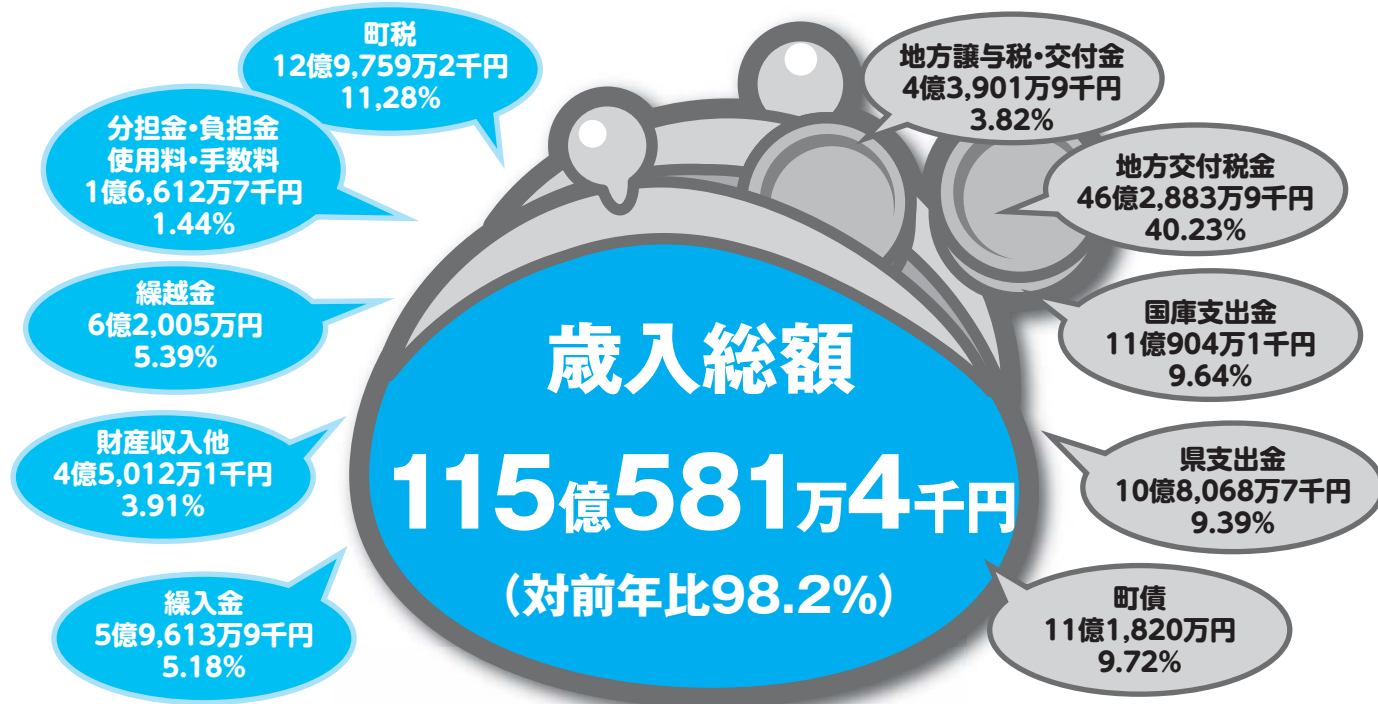
令和元年度決算状況	2 ～ 3P
令和元年度決算審議内容の抜粋	4 ～ 6P
一般会計補正予算	8P
一般質問	10 ～ 21P
常任委員会・一部事務組合報告 ...	22 ～ 23P

46万1千円の黒字

3千円のうち3,474万2千円を翌年度に繰り越す。

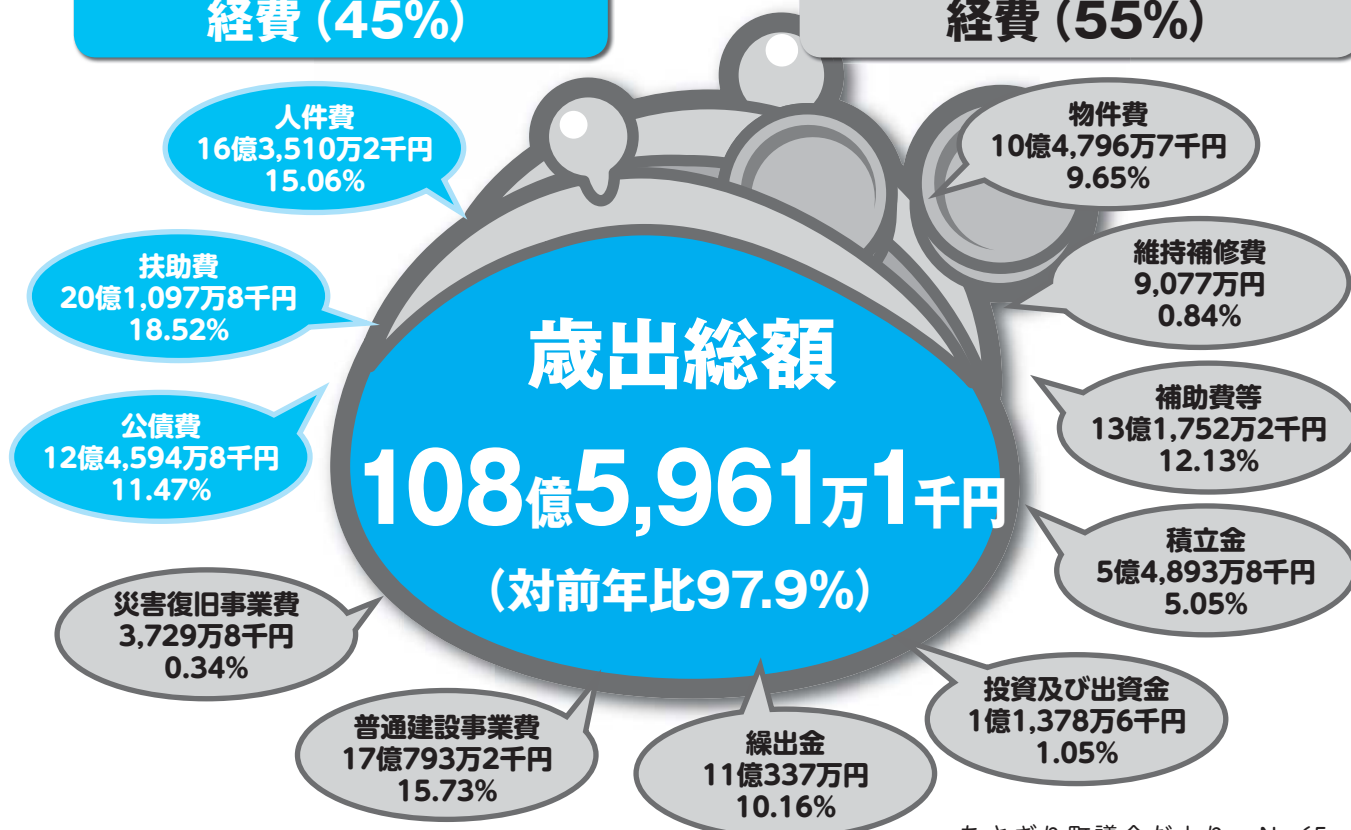
自主財源 (27.2%)

依存財源 (72.8%)



支出が義務づけられた 経費 (45%)

政策によって支出された 経費 (55%)



実質収支額 6億1,1

差額残高 (収入総額－支出総額) 6億4,620万

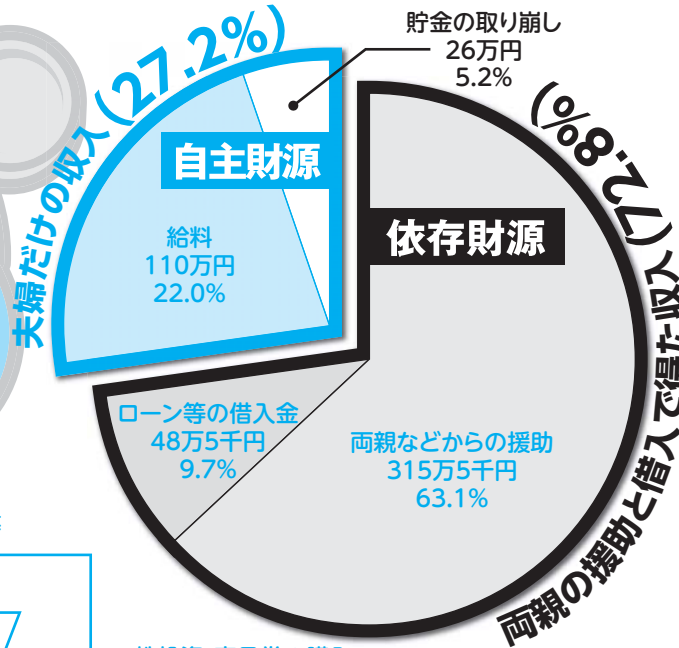
令和元年度
【あさぎり家】の
お金の流れ

わかりやすく一般家
庭の1年間の家計簿
で例えてみましょう

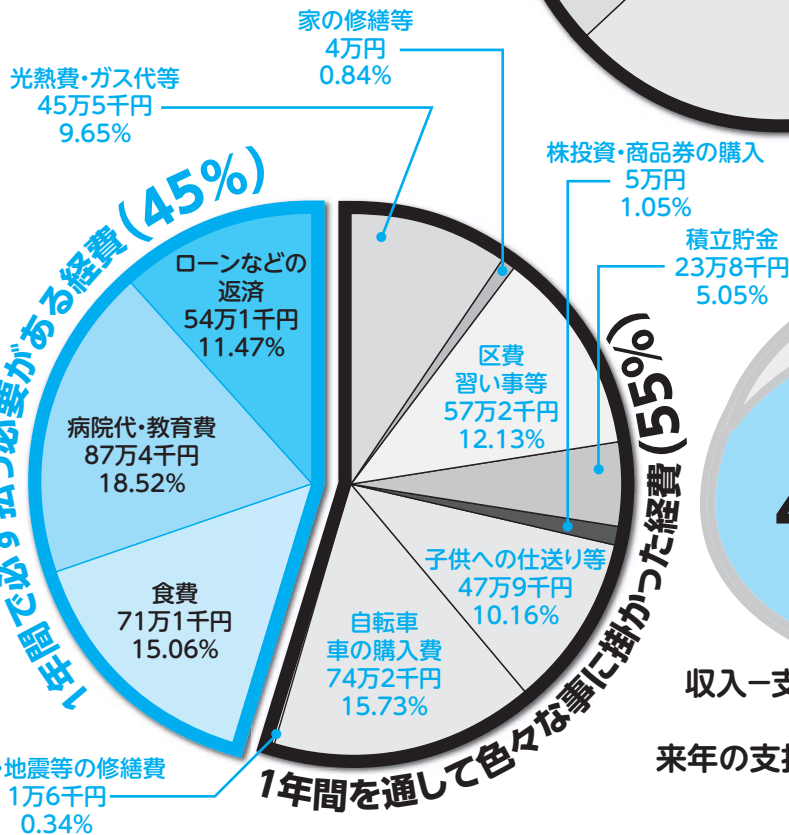
たとえば
年収500万円の
世帯としたら



収入合計
500万円
(去年の収入508万9千円)



右の表と照らし合わせて下さい



支出合計
471万9千円
(去年の支出482万円)

収入－支出＝(差額残高) 28万1千円の内、
1万5千円は
来年の支払い分にとって置く必要があります。

したがって令和元年度の「あさぎり家」は26万6千円(実質収支額)の**黒字**でした。

「あさぎり家」では、両親の援助と借金をしないと夫婦の収入だけで生活するのが難しいという事が解ります。また、両親も多額の借金があるので今後援助も少なくなっていく事が考えられます。あさぎり町でも同様に、町の収入だけでは町民の皆様には「行き届いた行政サービス」を行うことは困難で、国・県からの援助が必要ですが、今後この額が減っていくので、収支のバランスを考えながら計画的にお金を使うことが重要になってきます。



令和元年度決算審議内容の抜粋

問 区運営費について、第2条に区運営費および事業の経費の一部に対して助成、2項には、各区の自主防災に対する経費の一部に対して助成金を交付するという事になっているが。

答 交付要綱で二つの項で助成金を交付すると定めているが、すべての区で防災組織を作っていたらいておりますので、均等割り、戸数割りの中で、運営助成金として、交付を改正によって、始めている。

問 町内道路（町道、県道、国道等）の街路灯修繕（電球が切れ等）の負担は。経費、防犯上、LED化は必要なのでは。

答 町内の防犯灯、全体で2,200基ほど、町が設置し、球切れ、灯具の故障等に対応している。灯具等が故障した場合、LEDに街路灯は替える対応をしている。



LED化された防犯灯

問 第4次行財政改革プランに向けた考えは。

答 町の総合計画・実施計画とリンクして進めて行く。本町では、合併特例債が令和5年度までの発行期限があるので、今後の事業を整理しそのプランの中に組み込んで行く。

問 電算システムは、各自治体が個々でシステム関連の業務委託契約が行われ、負担増の要因になっているが、自治体間のシステムの共同化に取り組む考えは。

答 システムを一つにして行くことが経費の削減につながるもので、今後取り組む考えである。

問 防災ラジオの現在の普及状況、問題点、今後の促進は。

答 現在、4,433世帯、82.3%の世帯に配布している。IP告知放送のスピーカーが家のすぐ横にある。ほとんど家にいない。との理由で進んでいない。270の事業所にも設置し事業所の設置推進を進め、全戸設置を目指したい。

問 ふるさと寄付金の振り分け割合は。

答 6つの指定区分がある。町づくりに関する事業の割合を9.3%、健康づくりに関する事業が9.3%。安心快適が広がる町づくりが9.3%、子供が明るく未来に羽ばたく町づくりが56.7%、人がふれあう町づくりが4.0%。指定なしが11.4%である。

問 町営住宅の改修に高額な費用がかかっているが、費用の削減についての考えは。

答 計画的な改修なのか、簡単な補修なのかを見定めてやっている。今年度は公営住宅の長寿命化計画の再作成の年なので、現場の状態を踏まえて最善の維持管理の協議検討をして計画書を作成したい。

問 住民協働による環境整備資材等支給事業で今回18箇所を取り組みがあった。住民協働はこの事業で、1地区、1年に1回だけか。事業費額（最高）は。

答 同じ取り組みで1年に1回で複数年に分ける。別事業なら同区でも年度内で取り組みが可能。必要なのは担当課と条件を整え、住民生活が安全で安心

した生活ができるような方向に持っていきたい。事業1取り組み130万円までとなっている。



竹野区防草シート

いしている部分があるので比較できる部分については調査してみたい。

問 地区別の有収率平均75%、地区ごとの有収率は。今年度の状況と変わらないのなら、対策をどうするの。

答 地区ごと把握できていない。有収率も低い上、下がっている状況。例年漏水調査等を行い、岡原・上川南地区で20数箇所を発見し、修繕対応している。今後とも調査を行い極力有収率の向上に努めていきたい。

問 農業用ハウス強靱化緊急対策事業補助金が繰越明許となっているが、今年の台風10号による被害は出ていないか。

答 筋交い及び防風ネットの設置で今回の台風被害は出ていない。

問 各配水場と浄水場、水源ごとの維持管理の差は。

答 浄水場ごと支出をしている部分と、一括して支払

問 固定資産税の滞納があるが、今後の返済計画は。

答 未納額を何とか解決しようとして努力しているが、財産調査等を厳格にしていきたいながら、財産等を発見できた場合は、差押え等して換価して税金のほうに充てたい。

問 太陽光発電は年々設置箇所が増加しているが、現在何カ所位で課税徴収されているか。

答 272施設が町内に10キロワット以上の太陽光発電があり、取得額の合計は54億9,500万円。



年々設置が増えている太陽光発電

問 墓地公園沿いのガードレールの代わりの丸太が損傷しており、危なく景観等も悪い。交換の時期では。

答 材料を替えて、年次計画によって整備していきたい。

問 民生児童委員を3年間の業務を果たせば感謝状をもらえるが、3年未満の人は対象にならない。改善策は。

答 3年間業務をされた方は、国・県の方から感謝状がきている。町としても検討したが、お礼状という形で対応した。

問 ヘルシーランドの月別入浴利用者数と収支の状況は。

答 4月から3月まで、延べ94,353名の入浴数。収入の合計は91,937,094円、支出の合計は89,618,491円で収支差額は2,318,603円の黒字となっている。



問 こども医療費のアンケート調査は、町の重要政策決定の手法として疑問が残るが。あわせて業者委託料120万円の費用対効果は。

答 医療費助成負担は町民全員ですということ、参考としてアンケートを実施した。マクロ集計について手間等もかかるので専門の業者に委託した。

問 敬老祝金を子供・働く世代の方にも使ってもらえないかとの声を聞くが、敬老祝金支給条例の検討は。

答 簡単に変更はできないが、制度も長い期間経っているので一度見直してみたい。

問 生活支援ハウスの入居者1名に対する管理委託料328万円は高すぎるのでは。

答 夜間の宿直・土日の支所が閉まっている間の見守り・清掃等の委託料となっている。条例改正も含め、今後の生活支援ハウスのあり方を協議していきたい。

問 公立多良木病院の健診事業の赤字改善策として、町民にもっとコスモでの受診をお願いしていくべきと思うが。

答 企業健診、個人の方にもお願いをして出来るだけ受診者の数を増やす努力をしたい。

問 将来の医療費負担を減らすため、社会保険・国保関係なく若い世代・壮年世代にもっと健康づくりの啓蒙活動をすべきでは。

答 現在「20歳の検診」・「若くとも健診」を実施している。スマートウェルネスシティに向けスポーツ庁の補助を受け、社会保険の方も健康づくりに取り組む仕組みづくりをやりたい。

問 小学校児童の社会体育として60%の児童がクラブ活動で専門的に競技力の向上を目指して頑張っているが、残り40%の児童と体力面での格差が出てくるなどの懸念があり、これからの課題では。

答 ジュニアスポーツクラブにはどうしても入れない子供たちもいるのが現

状で、それをカバーするために、各小学校での教科体育の充実により、総合的な体力をつけさせながら運動の楽しさを味わわせることが大事だ。

問 A・L・Tの招致制度も、今の時代に合わせた教育の変化というものも感じ取って、リモートでの英語活動やICTを使った教育への方向転換を検討すべきではないか。

答 A・L・T制度は、直に本場の英語を聞くことができる体験や異文化をお互いに共有できるなどすばらしいものであり、今後じっくりと検討していく必要があると思う。

熊本県町村議会議員研修報告

これからの防災のあり方



防災・危機管理アドバイザー 山本武彦氏

10月5日（月）熊本県町村議会議長会の主催で熊本県立劇場において「これからの防災のあり方」について講演が開催された。講師に（防災システム研究所 所長、防災・危機管理アドバイザー 山本武彦氏）を招聘（しょうへい）。講演の中で4つのキーワードを話され、

・ニューノーマル（新状況・新常識）

地球温暖化や災害激甚化あるいは複合災害、分散避難、過去に無い言葉がこういう形で出来ていること。

・バックフィット（新知見に適合）

災害の教訓を活かす。

・フェイルセーフ（自動安全仕組）

災害やトラブル発生時に自動的に安全に調整する。
・スキルアップ（知識・意識向上）「自助」「共助」「公助」が必要ですが、高齢化社会においては「近助」の向こう三軒両隣で近くで助ける事が非常に大事。社会的な公設、受入れる安心の居場所づくりということのために住民一人一人の知識と意識の向上が欠かせない。色々なハードシステムよりも、大事なことは住民の意識啓発で何かが起きた時だけの意識だけでなく、継続して維持し、研修を通して繰り返し実践的なことの大切さを感じた。これからわが町の防災に繋げていくヒントを頂いた講演会であった。

議会活性化特別委員会 委員長 橋本 誠

「従前のくま川鉄道での復旧」の再考に関する決議案

全会一致で可決!

本議会は、くま川鉄道株式会社に対し下記の通り決議文を提出した。

「従前のくま川鉄道での復旧」の再考に関する決議

令和2年7月豪雨により全車両が浸水し球磨川第四橋梁が流失、道床やホーム及び線路の流出、また、いたるところで土砂の堆積で被害は甚大であります。

そのなかにあつて、豪雨災害の治水対策も決まらないなか、先の取締役会に熊本県が作成した「くま川鉄道災害復旧計画」が示され災害復旧費が約46億円、補助率：国1／2、地方1／2（補助災害復旧事業債・交付税措置率95%充当可能）の資料を素に「従来のくま川鉄道によって復旧」することを反対意見がある中で承認されましたが、復旧後の事業計画や収支計画も検討されずに結論を出されたことはあまりにも拙速すぎるのではないのでしょうか。

現在、あさぎり町の「くま川鉄道運営費補助」は、令和2年度23,398千円支出いたしております。あわせて、産交バスへの補助は27,574千円と1市9町村で双方合わせて2億96,031千円の支出となっております。

くま川鉄道は、平成25年・26年度に田園シンフォニー観光列車化に3億44,400千円をふるさと市町村圏基金から支出し車両更新いたしました。が、市町村の補助金は車両更新以前より増額となっており更新後の経営状況を精査する必要があると考えます。

くま川鉄道の復旧・復興については、くま川鉄道の経営の安定なくしてはなし得ないものと考えます。

そのためには、産交バスの在り方等も併せて慎重に検討し、住民の理解と協力を得ることが重要であります。

よって、「従来のくま川鉄道での復旧」を再考いただき、球磨・人吉の活性化につながるプランを学術的専門家や鉄道の専門家、国・県・市町村の担当者、議会・住民代表等による「（仮称）くま川鉄道再興プラン策定委員会」等を設置され多角的に協議いただくよう決議する。

令和2年9月18日

あさぎり町議会議長 徳永 正道

議会報告会の中での発言

議会基本条例に基づいて、報告会を開くようになっておりますが、今回は新型コロナウイルス感染症防止のため、議会報告会の開催を控えさせて頂きます。

議会活性化特別委員会

委員長 橋本 誠

議会インターネット中継の不具合の詫言について

9月9日あさぎり町議会令和2年度第6回会議のインターネット中継が視聴できないという現象が発生しました。

現在は復旧しましたが、録画分の9月9日と10日の午前中については映像が残っておりませんので、ご了承願います。

皆様には、ご迷惑をおかけしましたことを心よりお詫言申し上げます。

あさぎり町議会事務局

歳入歳出の総額に 6,491万1千円を追加し
歳入歳出それぞれ

総額

132億5,768万8千円

主なもの

生活福祉課

①新型コロナウイルス感染拡大防止事業補助…… 501万6千円

商工観光課

①飲食店等感染拡大防止補助金…………… 1,180万円

農林振興課

①新型コロナウイルス感染症対策
農林業経営持続補助金…………… 1,050万円

②新型コロナウイルス感染症対策
肥育農家経営支援補助金…………… 800万円

歳入歳出の総額に 3億4,935万7千円を追加し
歳入歳出それぞれ

総額

136億704万5千円

主なもの

企画財政課

①オンライン会議等…………… 372万8千円

健康推進課

①健康管理システム初期導入委託料…………… 328万9千円

②健康ポイント事業事務委託料…………… 49万5千円

町民課

①被災家屋公費解体委託料…………… 2,284万2千円

②被災家屋自費解体補助金…………… 400万円

農林振興課

①もみじ館トイレ改修設計委託料…………… 50万円

商工観光課

①おかどめ幸福駅売店指定管理委託料…………… 66万7千円

建設課

①道路橋りょう費…………… 1,800万円

教育課

①モバイル Wifi ルーター購入費 …… 404万円

条例の制定

あさぎり町認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について

民法の一部改正に伴い、本条例の一部を改正する必要があるため。

(認可地縁団体とは、地方自治法等の要件を満たし、手続きを経て法人格を得た自治会や町内会の事。法人格を得ることで、土地や建物等の不動産の登記ができる)

令和2年度第6回会議 表決一覧（抜粋）

議案・発議		議員名	小谷	岩本	難波	加賀山	橋本	小出	豊永	山口	永井	皆越	小見田	溝口	森岡
議案第24号	あさぎり町認可地縁団体の印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	あさぎり町商工コミュニティセンター改修工事請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第5号	「くま川鉄道復旧」に関する決議案について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

お詫びと訂正

あさぎり町議会だより64号の7ページ、令和2年度第2・第3回会議表決一覧表において、誤りがありました。徳永議長は議長のため表決に加わっておりません。ただしくは下記の通りです。お詫びして訂正いたします。

議案・発議・同意			議員名	小谷	岩本	難波	加賀山	橋本	小出	豊永	山口	永井	皆越	小見田	溝口	森岡
第2回	修正動議			○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○
	議案第3号	令和2年度あさぎり町一般会計補正予算（第5号）について		×	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	○	×
第3回	議案第12号	あさぎり町中心市街地活性化推進委員会設置条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議第2号	公共施設マネジメント調査特別委員会設置に関する決議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	発議第3号	議会活性化調査特別委員会設置に関する決議について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第19号	ふれあい福祉センター改修工事請負契約の締結について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	同意第2号	あさぎり町教育委員の任命同意について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



森岡 勉 議員
Morioka Tsutomu

大災害時代に備えた

防災人材の育成は



問

百年に一度ともいわれる災いが、球磨・人吉を襲った7月豪雨で、球磨川が氾濫し球磨川流域では50人が亡くなられた。犠牲になられた方の8割以上で、半数以上が屋内で発見された。

豪雨では、安全な場所に迅速に避難することが重要だが判断が難しい。この様な状況下において、自治体の防災情報を住民に分かりやすく伝達し、情報の共有するため

に、防災教育の徹底や、専門知識を備えた職員の育成などによる防災人材の確保が必要では。

町長

町では、防災計画に基づき訓練等実施しているが、自治体からの避難情報は国からの指示待ちである。そこで8月から、地域防災マネージャー制度によって防災危機管理監を採用しました。今後危機管理監の指揮のもと、災害に対する備えや、訓練を行い防災教育を実施していく。そして、自助・

公助・共助による自主防災組織の育成に努める。今後、本部長として危機管理監を中心に、情報を収集し、早期の判断が出来る体制にした

問

あさぎり町の防災週間に自主防災組織連絡協議会連絡会が開催された。町の防災基本条例に基づく組織を通じた人材の育成への取り組みは。

総務課長

本年度から組織的な策を講ずべく、組織と町の危機管理監を中心として連絡会の役割を高める。

その他質問事項

・営農再開への支援対策について



第1回あさぎり町自主防災組織連絡会議

一般質問12人が登壇

高額滞納者の徴収状況と

徴収計画は

問

町税の滞納額は、元年度9,449万円となっており前年度比686万円増加している。高額滞納者についての徴収状況と徴収計画はどのようなになっているのか。

課長

滞納額が増加した理由は、未納者が固定化しており継続的に財産調査を行っているが、差し押さえできない財産等が見えてきている。固定資産税についても相続人が財産放棄などして納税者がいなくなる



溝口 峰男 議員
Mizoguchi Mineo

現象が起きている。滞納税額が高額な案件から優先して整理を進めており滞納整理強化月間を設定し徴収強化に努める。

7月豪雨災害復旧復興 対応は

問

7月豪雨で、くま川鉄道も甚大な被害を受けて復旧の見通しも立っていない中、先のくま川鉄道の取締役会議で「従前のくま川鉄道での復旧を行う」事に決定した。

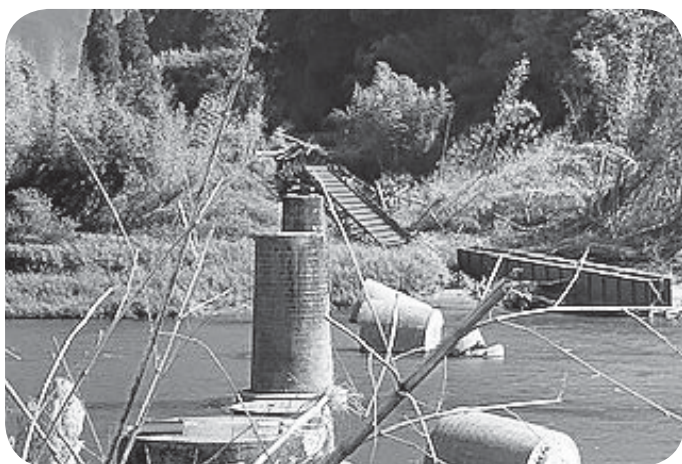
元年度、くま川鉄道に8,276万円、産交バスに1億9,338万円の運営費補助を支出している。（1市8町村合計）今後、人口減少や高齢化、交通弱者が増える中での対応も考えるべきで、まず取締役会議での内容を伺う。

町長

鉄道での復旧、代替えバスの方法、地域乗り合いバス、BRTシステムの整備など事例が出されている説明があった。その中で注目されたのが速達性、定時制、大量輸送性、運営費用並びに復旧に対する財政措置を比較した時に鉄道での復旧がベストである。

問

くま川鉄道は、平成25・26年度に観光列車（田園シンフォ



球磨川と川辺川の合流地点
7月豪雨で流出したくま川鉄道橋

町長

（一）5両を3億5千万円をかけ更新したが、利用者は増えずあさぎり町の補助金も年々増加をしている。従来の形で復旧をするにしても町の補助金は増えていくばかりと考えられるので、住民の理解と協力が無くしてはならない。住民の声を聴かずしての結論は拙速すぎるのではないか。

くま川鉄道を利用した球磨郡市の復



産交バス乗車体験 あさぎり駅8時35分発→公立多良木病院下車
あさぎり駅1名、八幡1名乗車

その他質問事項

旧復興、くま川鉄道の場合には復旧中興ではないかと思う。今後の人吉球磨地方の経済的な発達あるいは観光地としての魅力アップに貢献出来るように努力していくべきではないかと考える。

- ・ 監査の在り方及び強化について
- ・ 一人暮らしの家庭や買物難民支援について



加賀山 瑞津子 議員
Kagayama Mitsuko

豪雨災害の

検証と対策は



互近助（ごきんじょ）力で復旧作業

問 7月豪雨では田植え時期の水田が満水であったことも要因し、球磨川流域に甚大な被害が発生した。今回「共助」で避難への声かけや避難先の安否確認を行った。日頃からの防災教育が大切だと思うが学校での指導は。

教員 各学校で防災主任を設置し防災管理計画に沿って避難訓練を実施している。風水災については保護者と地域と協力した避難も実施している。

問 避難所での被災者対応の充実について①

高齢の方にはトイレ近くの場所を案内する②乳幼児用の場所の確保③立ち上がり困難な方への簡易ベツトスペースの早めの準備等、受付段階からチェックできるとスムーズに対応できると思うが。

副町長 実際体験してみてもアドバイス、対策本部等と打ち合わせをして参考にしていきたい。

問 非常食においてアレルギー対応の食材の検討はなされているか。

総務課長 アレルギー食対応にはまだ至っていない。

問 学校給食でもアレルギー食の対応をいただいている。避難時にも対応できる姿勢は必要。国の激甚災害に指定されたが、私有地に関しては各個人で対応されている。その方々への町独自の支援が必要だと痛感している。

町長 現行では私有地に関する支援は国・県からの警戒区域については予防という面から安全策を取っていかねばならない。国・県と連携しながら今現在の災害復旧を

「マイナンバーカード」のメリット

- 公的な身分証明書として利用できる
(未成年や自動車免許証を返納された方など)
- マイナポイント最大 5,000 円分の還元
(来年3月まで)
- 健康保険証として使えるように
(2021.3～スタート)
- コンビニ交付サービス
(早朝から深夜まで利用できて便利)
(人吉・球磨では人吉のみ)



マイナちゃん

現在の町内の取得者数 8月末 2,239件
(7月末14.8% 県18.9% 全国17.5%)

メリットがいっぱい マイナンバーカード

問 今回必要な物資が必要時に届きにくかったという課題が見えてきた。物資を取りに行けない人の所に届ける、さまざまな情報を町につなげるという、広い意味でのボランティア活動の充実。

生活福祉課 ボランティアセンター計画についても社会福祉協議会と十分に協議検討しながら計画していく。

その他質問事項

・マイナンバーカードの普及を



小谷 節雄
Kotani Setsuo
議員

コロナ禍における今冬の インフルエンザ等の予防対策は

問

コロナ対策や災害対応など緊急事態の下

では、町部局と議会の連携が平常時以上に必要不可欠であり、本町議会6月定例会では、全議員確認のもとコロナ関連の一般質問自粛という対応をした。議会としての職務放棄だとの御指摘も後日一部の方からあったが、各委員会、全員協議会、本会議での議論を尽くしていく前提であり、具体的な議論を放棄したものでもなく、一般質問への対応準備業務等から関係職員の負担軽減を図ることが、今回の様な況下では公共の利益にかなうものと考えている。

種の実績は。

健康推進課長

過去5年間の65歳以上高齢者のインフルエンザ予防接種率については、概ね56%から58%台で推移している。

問

助成対象である65歳以上の接種率が概ね6割程度ということだが、住民の認識が高まり任意の接種希望者も増えると、ワクチン供給逼迫の懸念も一方であるようだが、ワクチン供給の見込みや、予防接種勧奨についてはどのようなになっているか。

健康推進課長

ワクチン供給についての厚労省の発表は、昨年度より7%多い6,300万人分位の見込み。

予防接種勧奨については、ホームページや広報あさぎりでの掲載のほか、高齢者サロンや出前講座、複合健診などで勧奨を行っている。

医療従事者や高齢者・

問

基礎疾患をお持ちの方・妊婦・小児等のハイリスク者について優先的に推奨することとなっている。

感染リスクを恐れた持病の未受診による重症化や、同時流行による医療機関での混乱なども不安視されるなど、コロナ禍という例年にならないハイリスクの特殊事情の中で、インフルエンザ予

町長

町として勧奨をすすめ、できるだけ多くの方に予防接種をしていただくための広報に努めていきたい。

予防接種は、自治体として執りうる具体策の一つであり、通常年どおりではなく、もっと強い予防接種勧奨を今からでも十分に合うので、やっていくべきではないか。



役場玄関でも検温実施中



皆越 てる子 議員
Minagoshi Teruko

町営住宅管理条例・施行規則に

基づく適正な運営は

問

入居者が町営住宅管理条例に違反やなじまない状況はないか。

建設課長

町営住宅には所得制限がある。所得の高い方は本来入居できないが、入居時点では所得がその基準に満たされた方が入居され、数年たち所
得が高額になっておられる。条例に載っている通り当然退居の依頼をしているが、直ぐに退居先がないので、できるだけ早く居住先を見つけていただくようにしているのが

一件ある。

問

町営住宅をセカンドハウスにしているということも耳にしているが。

建設課長

15日間以上町営住宅に住んでおられない場合は一応退居の条件となっている。町として退居願いの話はしている。すぐ帰ってきますということをおっしゃいますので、その言葉を信じている状況。随時連絡等はしている。

問

令和元年度の収納率が低い。未納額が多い要因は。

建設課長

平成30年度・令和元年度通常と変わりなくしている。原因の分析はしていない。

問

7月の豪雨災害後、2回町内外含めた町営住宅の入居募集の状況は。

建設課長

16件の申し込みがあった。

問

入居ではなく一時避難所としての入居募集だったのか。

8月31日の全員協議会の説明では、町内2件・人吉市1件・球磨村2件・芦北1件・計6件となっているが辞退された理由は。

建設課長

随時募集で待機者がいない団地で、設備が整っていない・ペットは禁止・中心部より離れているということであった。

問

2ヶ月間の入居でクローラー・浴槽・カーテン等の取り付けともう少し被災者に寄り添っていただきたいという希望であった。

建設課長

町としては共同生活されるよりも、独立した空間の中での生活ができる2・3か月の場所ということでの提供で考えていた。

問

地方公務員法が令和2年4月1日に改正

区長の位置づけは

され、区長や公民分館長が町の特別職の非常勤公務員ではなく、本年より区長業務として委託料に計上されている。国税・県税・市町村民税・国民健康保険税にどのような影響が出るのか区長さん方への説明は。

総務課長

令和元年12月の第5回定例区長会・令和2年2月の第6回区長会において制度の概要説明を行い、税務課を通じて今年度8月の区長会で所得の取り扱いについて説明している。



一部が解体され更地になった竹野団地

災害時における 生活用水の対応は



上川南水源地復旧状況

ン管等に変えるなど強靱化を図っていききたい。

問 岡原地区の試掘井戸の今後の利活用は。

課長 試掘井戸が私有地にある。地権者と話し非常用水源として利活用できるようにしたい。

問 7月豪雨を経験して本町の水道施設の整備、将来的な構想は。

シヨンしたのか。

課長 通常は個別の浄水場への対応を想定しているが、複数力所が同時に被災して一時断水する状況は想定できなかった。今回の被災を十分検証し今後、対応していく。

問 5カ所の水道施設が豪雨災害で岡原地区及び上地区、免田地区が断水になった。今回の災害規模に対応するものだったのか。事前にシミュレーションしたのか。

橋本 誠
Hashimoto Makoto
議員



問 被害を受けた施設は原形復旧を検討し強化した設備としていくのか。

課長 原則原形復旧となるが、できる範囲で耐震性を備えたポリエチレン管等に変えるなど強靱化を図っていききたい。

問 ライフラインが壊れた場合防災のことも考えた上で指定避難場所に水の確保が必要。井戸を掘る考えは。

町長 水道事業は非常に将来的にも厳しい。地下水を利用し優先的に使用していきたい。新たな井戸を掘る事は経費増につながる。免田の地下水をポンプで押し上げ須恵・岡原に送っていききたい。

問 防災の面で全戸の井戸の数を把握は。

総務課長 各家庭の井戸の箇所数は把握していない。

問 今回の教訓で、水の大切さと水の怖さの観点からどのような教育をしているのか。

教育長 水源を守る森林の働きや安心安全な水の供給に従事している方々の努力、大切な水源涵養林の保全状況等について学習。土に流す水の量による土の変化実験を

行い、土の浸食や運搬、堆積について学び、雨量と水位の関係資料等を活用しながら、川と水害についての学習へと発展させていき水の怖さを指導していく。

問 安心安全な水を供給する水道施設は。

町長 災害にも強く、良質の水を安定的に供給していく。

その他質問事項

- ・新型コロナウイルスの感染について
- ・今後のネット環境の整備について





小見田 和行 議員
Komita Kazuyuki

豪雨災害から住民の生命財産を

守る取り組みは

問

7月豪雨によって昨年、幸野溝、百太郎、中球磨3土地改良区から提出された要望書に示された被災力所が、同様の被害を被った。住民の生命財産を守るため、風水害、地震対策など遅れている関連事業を早期に充実させる事は、行政の最大な責務と考える。県営事業、団体営事業での取り組み要望であったが進捗状況を伺う。

農林課長

県と検討会をしているところである。一

問

応、県営事業で取り組む予定であるが本年度において基礎調査を行い、実施設計、採択の申請と同意徴収等の段階を踏まえ令和5年度に事業着手という事で確認している。

本格的な工事に着手するまで年数がかかるが脆弱な箇所については町単独でも補強して被害常習地を守るべきではないか。

農林課長

町単独で改修した箇所については、県営

問

豪雨による農地、農業施設の単独災害復旧への対応策について、激甚災害指定箇所（工事費40万円以上）は補助率96.3%、小規模災害（10万～40万円）の場合50%、多面的交付金を活用すれば受益者負担は無し現状であるが、多面的、中山間直接支払いのエリア外の箇所もあり負担に不公平感がある。今回のような記録的豪雨災害においては補助率を上げ、災害復旧に臨むべきと思うが考えを伺いたい。

町長

国、県と相談しながら必要とあれば自主財源での改修も視野に入っておかねばならない。

農林課長

不公平感が出ないよう検討していく。分担金条例の50%負担についても、見直しをかける。

上水道の安定的配水に向けた取り組みは

問

今回の豪雨で山間部にある水源が被災し断水となったが応急的に試掘井戸を接続して長期間の断水とはならなかった。水質、水量共、期待

町長

非常時にいつでも利用できる様に、所有者の方と協定を結んでいきたい。

できる水源なので今後も防災上、取水できる体制を整えるべきではないか。



林道が消失 上水道管が出現

豪雨災害後の対応は



災害箇所の大型土のう

道路等の復旧をどういう手法手段で進めていくのか、課題と対策を問う。

町長

今担当課では、現地調査が済んで、コンサルタントの見積りを集めて、県の査定を待っている。県の査定が終わる次第、本格的な工事発注になっていく。人吉球磨で相当数の災害が出ているので、計画どおり復旧がなっていくのか、業者が人的な数量が足りないということも言われている。一生懸命我々も情報を集めながら、担当課と一緒に進めている。

建設課長

災害箇所については、道路等は応急復旧で対応している。河川についても、そのまゝの状態でもまた2次災害、被害が大きくなるということが想定されたら、簡易なものでブルーシートを張ってとか、大型土のうの設置とかで対応するこ

とになる。井口川などの県管理河川は、県に報告はしている。町民から不安だと情報があったら、すぐに県に繋いで、何らかの対応をしてもらうよう、伝えている。

問

令和2年7月3日夜から4日朝にかけて、熊本県南部は梅雨前線の影響による記録的な豪雨に見舞われた。あさぎり町においても人的被害はなかったもの

豊永 喜一 議員

Toyonaga Kiichi



の、浸水被害による家屋の損壊、土砂崩れ、道路の寸断、水道の断水等経験したことのない多大な被害状況となった。改めて穏やかに過ごしてきた日常生活を一瞬にして奪い去る自然災害の怖さを思い知ることになった。被害のあった地域では、今後も予想される台風、大雨等による2次災害等を危惧する住民も多くなる。復興復旧に向けて速やかな対応が求められるが、今までの防災減災対策の検証、被害のあった河川、用排水路、農地、

問

今回の被害で、道路67ヶ所、2億700万円、河川が28ヶ所の2億800万円と報告があっているが、河川については、球磨川に流れ込む支川が今回の豪雨でさらに傷んで酷くなっている所もある。二次災害が一番怖い。その間の措置をどうとるのか。



災害箇所のブルーシート張り



難波 文美 議員
Nanba Ayami

コロナ禍における

豪雨災害時の住民対応は

問

コロナウイルス感染警戒により地域経済が大きく疲弊していた最中に九州南部豪雨災害が発生し住民生活に更なる追い打ちをかけた。災害発生時の避難関連とその後、の住民への生活支援対応はどのように為されたのか。

課長生活

7月4日のピーク時点で85世帯211人の避難が確認され、高山体育館が一番多くの避難があった。免田体育館での発熱された避難者には

武道場に場所を設け職員3名体制で見回りを適宜行った。また車中泊避難者へも声かけし非常食を配るなど対応した。各避難所の年齢構成の把握はしていない。

課長教育

球磨村から小学生11名、中学生2名が避難されていた。現在町内の小学校に2名就学している。

副町長

避難所設営については5月からマニュアル作成に着手しており体制を整えてきた。

町長

発災前の避難準備は公助で行い発災後の避難所運営は共助で運営していく方向で考え準備を進めている。

問

被災者支援の義援金の定義は公平に全額配分とあるがいつどのような内容で行われるのか。また通常のあるさと寄附金と違う返礼品なしの復旧復興のための災害支援寄付の状況は。

課長高齢

8月21日現在、各支所と本庁舎の義援金箱、2つの金融機関口座に510万円の義援金が集まっている。副町長を筆頭に配分委員会を設置し関係課長や外部の意見を聞きながら配分額や時期を決定していく。

課長企画

8月末で510万円ほどの寄付が集まっているがその取り扱いについては今後検討していく。

問

町民一人あたり5千円の生活応援券が配

布されたがその利用状況は。

課長企画

豪雨災害の影響で配布方法の変更と配達遅延があったが8月中旬までに配布完了した。登録事業者は203店舗、支給総額は7千546万円であった。

問

店舗によっては利用の少なかった業種もあるようだが生活応援券は町民にとって使い道自由の非常に利便性の高い取り組みといえる。応援券第2弾の考えは。

町長

消費が落ち込み、収入が減っている町民の生活応援という意味からも正しい理解が必要。国の臨時交付金や町単独の予算活用などの意見もあり、現在執行部で懸命に議論中である。



利便性の良さから第2弾の配布が期待される『あさぎり町生活応援券』



7月の豪雨災害は



な被害が出た。異常気象が続く、このような豪雨がまた今後発生する可能性がある。あさぎり町は山に囲まれた町で、いかに山からの雨水、土砂を山際で食い止めるかが課題である。そうする事により、水田・農地・幸野溝・百太郎溝等への土砂の流入や、溝の増水もかなり防げるのでは。

町長

幸野溝・新幸野溝、

そこに対する山から

の土砂の流入が、昨年、一昨年度から極端に増えているように思う。いろいろな原因が考えられると思うが、やはり雨の量が多いのが一番の原因ではないか。耕作放棄地を利用した遊水池沈砂池というものを作って、その土砂を定期的に取り除く事で被害を防げるのではないかと考えている。

問

雨量が多かったのも一つの原因だが、もう一つの原因として、

近年、山林の間伐、伐採等において、ユンボを使い、作業道を作り、高性能作業機を使って運搬まで行われている。林業の人手問題等、必要性も感じているが、一方では、山からの雨水や土砂の流入につながっているのでは。

町長

林地内に作業道を作る為に、それが土砂

流出につながっているのではないかという意見は多数あるし、他の町村でも指摘されるようになってきた。高性能林業機械による伐採、木材を搬出した場合の、後の整理をお願いするようにしている。山間部に住宅を構えておられる方は本当に不安になるだろうと思う。不安解消の為にスピード感をもって取り組んでいきたい。

問

こういった作業道を決める場合には、十分な配慮が必要と思うが。

町長

作業道から舗装した林道の方に道路が入っている時には、その所の水切りを徹底して、この舗装道に流れていかないよう、林地の安全所の方へ流れていくよ

うな方策をとるよう指導していきたい。

その他質問事項

・コロナ禍による町の影響について。



小出 高明 議員
Koide Takaki

問

7月3日からの梅雨前線の停滞および線状降水帯の発生により、球磨川の、想定を上回る増水、そこに流れる支流の増水氾濫で、甚大



水源地貯水槽近くにある木材伐採、搬出に作られた作業道



岩本 恭典 議員
Iwamoto Yasunori

コロナ感染による

経済的損失額は

問

町の現在までの経済的損失額は。

課観商工

商工業の損失額を出すのは困難だが、参考の数字として251件申請の持続化補助金減少額の合計から約5億円の売上減少額、平均減少率48.9%である。

課振農林

農業関係では、48件の経営持続化補助金に基づき参考として、月平均3千400万円程度、3カ月比で1億200万、1月から8月まで8カ月で2億7千万の減少額である。

問

国・県・あさぎり町の経済的補助・支援

等がばらばらで分かりづらい。地方創生臨時交付金を使って、パンフレット等を町独自で作成できないか。また、感染予防策・注意を喚起するポスターを配布できないか。

町長

聞き取りながらやらないと説明が十分に出来ない部分もあり、次の手を打つ情報収集にも繋がるので面倒だが相談窓口を利用していただきたい。

課観商工

飲食店向けの補助金創設と合わせてポスターも作成中で、近日中に配りたい。

課財企画

ポスターについては地方創生臨時交付金の対象となるので、補助事業の件と合わせてその交付金を充てる。

問

感染者およびクラスターが発生した場合の経済的な支援は想定しているか。

町長

経済的な支援は計画してないが、絶対に出さないという取り組みをしていたきたいとお願いをしている。

今回の豪雨災害の被害額は

問

町の現在までの被害額は。

課総務

公共施設の被害総額は4億8千万、農林業の被害総額は5億円である。

問

被害額に対する町の負担額は。

課財企画

仮に被害額が10億円とした場合、町の負担額は公共土木施設で約2千万、農業施設で7百万位である。

問

税収の減少が考えられるが、SWC・中心市街地整備事業・防災拠点の建設整備・建設関連事業の見直しは考えているか。

町長

令和3年度当初予算の組み方も検討するが、やるべき事は手を打っておかないと時代に乗り遅れるので予定通り行う計画である。

問

合併特例債の再延長を国に申し入れることが必要だと思うが。

町長

いろんな事が遅れてくるので延長もお願いしたいと考えている。

SWC（スマート・ウェルネス・シティ）とは

Smart（賢明、快適、エコ、美しい）・Wellness（健幸、安心）・City（まちづくり）のベストプラクティスを実現するという考え方である。新しいモデル構想である社会参加するための仕組みづくりを支援し、地域の活性化に貢献することを目指している。



永井 英治 議員
Nagai Eiji

本町のネット環境の

認識は



増えているが、ネット環境とその件数をどのように認識しているか。

町長 インターネットは、町の活性化を進めていく上で、必要不可欠なものと考える。これから、強力なネット環境を構築していきたいと考えている。

県内のデータと比べても、本町の加入件数は少ないと思う。高齢者の方々には敬遠される傾向がある事も理由の一つかもしれないが、7月の豪雨災害時の脆弱性等、あさぎり光通信事業の本質的な点も再度検証をしていきたい。

課長 県内のデータと比べても、本町の加入件数は少ないと思う。高齢者の方々には敬遠される傾向がある事も理由の一つかもしれないが、7月の豪雨災害時の脆弱性等、あさぎり光通信事業の本質的な点も再度検証をしていきたい。

問 あさぎり光ブロードバンドが開設されて約10年が経過した。開設当初の加入件数が約9000件で現在が1,250件と、約350件

問 国は、2040年を目途にスマート自治体の実現を目指しているが、町としての考えは。

町長 今、新型コロナウイルスの影響でデジタル化という言葉が頻繁に聞くようになってきた。今後、職員数が減少して

も住民サービスは多様化していく中で、特にAI等を利用する事で将来の職員数の減少に対応できるようにしていきたい。

問 行政のデジタル化や各種証明書をコンビニで発行できる様にするために、マイナンバーカードの普及が今以上に必要になると思うが。

課長 各種証明書のコンビニ発行ができるようになるれば、住民の利便性は確かに向上する。その事でマイナンバーカードの申請が増えるのではないかと考えている。

問 学校のオンライン授業はどのような手法でするのか。

教員 現在、学校ICT教育推進部会を立ち上げて研究している。端末機器を各家庭に持ち帰らせることで、学校での学習と家庭学習の連携を図っていきたい。

課長 オンデマンド型と同時双方向型があるが、まずは、岡原小学校をモデル校としてオンライン授業の形態の検証や教職員のスキルアップの支援を検討している。

課長 オンデマンド型と同時双方向型があるが、まずは、岡原小学校をモデル校としてオンライン授業の形態の検証や教職員のスキルアップの支援を検討している。

豪雨災害時の支援は

問 7月の豪雨災害時の農機具の被害に対する支援は。

課長 国の強い農業担い手金事業・被災農業者支援型と県や町の支援を合わせて約10分の9の補助を考えている。



進んでいくネット環境

常任委員会報告

総務建設経済常任委員会

○6月25日(木)

①要望書について

・あさぎり町飲食業有志からの提出分(コロナ感染症対策)

・あさぎり町長に申し入れ書を提出(あさぎり葉草合同会社関係)

○8月28日(金)

①町有地における廃棄物の撤去について

②補正予算(第7号)について

○8月3日(月)

①あさぎり町駐車場条例の一部改正について

②災害救助法の応急修理について

③一般会計補正予算(第9号)(第10号)について

④7月豪雨被害による水道施設の復旧状況について

⑤浄化槽維持管理費補助

事業について

⑥農業関連懸垂幕検討委員会(仮称)について

⑦要望書について

⑦要望書について

⑧その他

〈農業関連懸垂幕検討委員会(仮称)委員の選出について〉



あさぎり町商工コミュニティセンター「ポッポ一館」

厚生文教常任委員会

○6月29日(月)

農業用廃ビニール等処理加工施設設置反対に関する陳情書の審査について

陳情書提出の深田地区環境協議会より出席いただき陳情内容の聞き取りを行った。未だ施設設置が流動的であり、推移を見ての審査とする事とした。

学習支援員配置について

新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休業等により授業できなかった未指導分の授業や補習を実施するため学習支援員4人をあさぎり中学校へ配置する。財源の一部として県補助金を活用する。

○8月3日(月)

あさぎり町学校給食センター調理配送等業務委託(債務負担行為)について
郡市では初の試みとなる

性能発注との説明を受け、給食の安心安全面の質疑や発注方式について質疑があった。

○8月6日(木)

学校給食センター調理配送等業務委託について

前回説明の性能発注を白紙撤回したい旨の申し出があり、委員会からは公募における競争原理に関する質疑があった。

○8月25日(火)

地方たばこ税を活用した分煙環境整備に関する請願書の審査以下13項目の事務調査をおこなった。



一部事務組合報告



上球磨消防組合議会

○6月29日(月)

令和2年第2回臨時会が開催され、令和元年度上球磨消防組合一般会計継続費繰越計算書の報告があり、令和2年度一般会計補正予算では4件の議案が全会一致で可決した。

議案第5号 工事請負契約の締結について

工事名 上球磨消防組合訓練棟改築工事
契約金額 1億9千140万
契約の相手方

味岡建設株式会社

代表取締役 味岡 俊彦

本案は、全会一致で可決した。

8月24日開催の第3回臨時会では、

議案第6号 物品売買契約の締結について

事業名 令和2年度寄贈救急自動車関連事業
契約金額 2千2百61万6千円
契約の相手方

熊本トヨタ自動車株式会社

代表取締役 井原 宏

本案は、全会一致で可決した。



公立多良木病院企業団議会

○8月26日(水)

令和2年第3回定例会が開催された。

まず一般質問では、湯前町選出の遠坂議員から「病院経営コンサルの取り組みについて」、次に多良木町選出の久保田議員から「コロナ感染対策について」と「経営改善の取り組みについて」、最後にあさぎり町選出の小見田議員から「企業団経営状況説明会の内容とその後の職員の意識の変化について」、それぞれ企業長と開設者協議会長へ質された。

その後、議案3件(条例改正2件、補正予算1件)と、令和元年度決算認定5件が提案され、いずれも原案通り可決認定された。



人吉球磨広域行政組合議会

○8月27日(木)

令和2年第3回定例会が開催された。

令和2年3月の第1回議会定例会以降の定例理事会における主な審議等について報告があり、専決処分の承認を求めることについてと、一般会計補正予算が一括提案され原案の通り可決決定された。決算の認定については会計管理者の説明と、代表監査委員の決算審査意見書の報告を受けた後に、令和元年度決算特別委員会が設置され、審議については委員会に付託された。



\\聞かせて\\

町民の声

町内の方々に寄稿していただきました

ダンスを通して思うこと

KUMAKOI六調子の誕生をきっかけにダンスチーム『SAKURA』組を結成して17年となります。当時の中高生達は母となり現在は保護者さんに。年をとるはず(笑)。近年のダンスブームにより、動画で振りを覚えて気軽に楽しめるようになり、指導することに時より悩むこともあります。見た目の格好良さだけではなく、ダンスを通して人前で気負わずに表現し伝える心と力を持ってほしいと思っています。学校行事などでそれを発揮できたという報告が何より嬉しく感じます。

コロナ感染で披露する場がなかなかありませんが、又あさぎりっ子達のダンスで、この人吉球磨を元気にしたいと思っています。今後とも応援をよろしくお願いします。



深田(下里)地区

井上 彩子さん



免田(久鹿)地区

山口 智和さん

子どもたちの運動会

9月27日に免田小学校の運動会が開催されました。我が家の長男も小学校にあがり初めての運動会でした。今年は新型コロナウイルスの影響もあり、スケジュール調整や熱中症に注意しながらの練習など大変だった部分もあったと思いますが、開催していただいた学校関係者の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。

どんな状況でも、少しずつ成長しながらひたむきに頑張る子どもたち。とても輝いてみえました。改めて毎日の元気や活力を子どもからもらっていると実感しつつ、私たち大人が困難な事に屈してはダメだと感じさせられました。

掲載された時は終わってますが、次は次男の保育園の運動会。がむしゃらな姿。とても楽しみです。



このコーナーは町民の皆さまから議会に対する事や町への要望を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願い致します。



■表紙の写真について

上東地区のコスモス畑

編集後記

月日のたつのは早いもので、今年もあと2か月をきりました。コロナ禍で町の通年行事も中止という異例の中、7月の豪雨災害が人吉球磨を襲い、復旧復興に全力を注いで頂いている現状で、一刻も早い復興を心から願うばかりです。

(皆越 てる子)



編集・発行責任者

議長 徳永 正道

広報調査特別委員会

委員長 岩本 恭典
副委員長 皆越 てる子
委員 永井 英治
豊永 喜一
橋本 誠
小谷 節雄



★お願い★「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材します。
議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。